

やさしさと活気の調和した
夢あふれるまち“おつら”

紉

50th
ANNIVERSARY

町制施行50周年記念

邑楽町50年のあゆみ





邑楽町長
金子 正一

O R A 5 0 t h A N N I V E R S A R Y

やさしさと活気の調和した 夢あふれるまち“おうら”を目指して

邑楽町は今年、町制施行50周年を迎えました。

これもひとえに、これまでのまちづくりに尽くされてきた先人たちのご努力と、町民皆様のご協力の賜物であると、深く感謝を申し上げます。

町制施行当初、人口は約15,000人、世帯数は約3,100世帯ほどでしたが、半世紀の時間を経て、現在人口は26,000人を超え、世帯数は10,000世帯を超えました。

この半世紀という時間の中で、社会経済情勢、町民ニーズの変化・多様化を的確にとらえた行政サービスを提供し、豊かな自然と都市機能が共生するまちづくりを推進し、持続的な発展を続けるべく、さまざまな取り組みを進めてまいりました。今後は、これまでの取り組みを継続、推進していくのはもちろんですが、これまで以上に町民の皆様と協働のまちづくりを進め、町の魅力をさらに高め、町に暮らす誰もが未来に向かって夢と希望が持てる「やさしさと活気の調和した夢あふれるまち“おうら”」を町の将来像として、次の50年へ向けたまちづくりのスタートの年にしたいと思います。

糸
で
紬
ぐ

CONTENTS——◎目次

邑楽町50年のあゆみ

1968年－1977年	02
1978年－1987年	06
1988年－1997年	10
1998年－2007年	14
2008年－2018年	18

これからの邑楽町

自然・都市基盤整備	22
生活環境	23
保健・福祉	24
教育・文化	25
産業振興	26
地域活動	27
公民館紹介	28
行政・議会	30
町内施設一覧	31
データで見る邑楽町	32

1968
昭和43年

1971
昭和46年

昭和30年代後半からの高度経済成長により、純農村地帯だった邑楽村も農業就業者以外の人口が半数以上を占めるようになりました。
日本国中がいざなぎ景気にわき、明治百年という記念すべき昭和43年、「邑楽村」は「邑楽町」へと生まれ変わったのです。

邑楽町が産声を上げたその日は、快晴の空の下、自衛隊音楽隊の吹奏パレードや各区代表の、のど自慢大会などのアトラクションがにぎやかに催され、町を挙げて祝賀ムード一色に。さらに10月には、郷土のホープ上武選手が2大会連続のオリンピック金メダルに輝き、二重の喜びに包まれた年となりました。

町となつての10年間は、小中学校の校舎やプール、屋内運動場など、特に教育施設の整備に力が注がれた年代でした。

また、保育園や社会福祉センターなどの福祉施設の整備、中野住宅団地の造成や埴堀住宅団地の整備、ごみ収集の開始、浄水場の拡張、消防邑楽分署開設など、町民生活に直結するさまざまな整備が積極的に進められ、住みよさから転入者が年々増加していきました。

新しい町民が増える中、47年には町紋章、50年には町歌や邑楽町音頭がつくられるなど、町民アイデンティティーの確立を図ることに力も注がれました。



1町制施行祝賀会【昭和43年4月】

中野小学校屋内運動場を会場に、県知事代行、県出国会議員、県会議員、隣接市町村長など多数の来賓出席のもと、盛大に祝賀式が挙行されました。



2オープンカーでパレードする上武選手【昭和43年10月】

レスリングフリースタイル・バンタム級で東京五輪に次いでメキシコ五輪でも金メダルを獲得した上武洋次郎選手。郷土の英雄として町民の祝福を受けました。



3完成間近の邑楽中学校【昭和44年2月】

統合「邑楽中学校」の発足（昭和44年4月1日）に向けて、42年から校舎の建設工事が進められていました。



4中野小学校プール完成【昭和44年7月】

長柄小・中野小・高島小の3小学校のプールが同時に建設されました。25m 5コースの立派なプールが完成しました。

5高島小学校屋内運動場完成

【昭和45年10月】
総工費1,500万円をかけて広さ430㎡の新しい屋内運動場が完成しました。



6長柄小学校屋内運動場完成【昭和45年11月】

高島小学校と同時に長柄小学校の屋内運動場も、広さ504㎡、総工費1,620万円で建設されました。



7館林地区消防組合邑楽分署庁舎完成【昭和46年2月】

1968
昭和43年

- 4月●町制施行により邑楽町となる 1
- 9月●農集電話開通（2,311台の加入）普及率74%となる
- 10月●上武（現・小幡）洋次郎選手メキシコオリンピック、レスリングフリースタイルバンタム級で金メダル獲得（東京オリンピックに次いで2個目） 2

社会の主なできごと

- 6月●小笠原諸島23年ぶりに日本へ復帰
- 7月●郵便番号制実施

1969
昭和44年

- 1月●交通指導員制度発足（指導員12名）
- 2月●邑楽中学校校舎完成 3
- 3月●長藤堀土地改良完成
- 4月●館林邑楽交通災害共済組合（1市3町2村）発足
- 7月●中野・高島・長柄3小学校にプール完成 4

社会の主なできごと

- 5月●東名高速道路全線開通
- 7月●アメリカのアポロ11号が月面に着陸、人類の第一歩をしるす

1970
昭和45年

- 2月●邑楽中学校屋内運動場完成
- 4月●館林地区消防組合（1市2町2村）発足
- 5月●首都圏都市開発区域指定
- 7月●東毛広域市町村圏振興整備組合（2市5町2村）発足
- 7月●邑楽中学校プール完成
- 8月●ごみ収集車購入、ごみ収集（可燃・不燃物）開始
- 10月●国勢調査人口15,030人、世帯数3,232世帯
- 10月●高島小学校屋内運動場完成 5
- 11月●長柄小学校屋内運動場完成 6
- 12月●都市計画区域指定

社会の主なできごと

- 3月●大阪で万国博覧会開催
- 10月●国勢調査で日本の総人口1億人を突破

1971
昭和46年

- 1月●中央保育園完成
- 2月●館林地区消防組合邑楽分署庁舎完成 7
- 10月●有線放送町移管となる
- 11月●邑楽町総合計画策定

社会の主なできごと

- 4月●群馬テレビが本放送開始
- 6月●沖縄返還協定調定式

この時代は…1968年～1977年
●日本の経済成長率は年10%以上という右肩上がり時期。
●昭和43年のカラーテレビ普及率はわずか5.4%だったが、10年後の52年には94.5%に。
●高度経済成長のひずみから公害が社会問題化。
●昭和47年に田中内閣が「日本列島改造論」を発表。土地投機ブームとなりインフレ加速。

『邑楽町』誕生。

1972

昭和47年

1977

昭和52年

8 火の見やぐらに設置された屋外有線放送のスピーカー〔昭和47年3月〕

町内16か所の火の見やぐらと邑楽中学校に取り付けられたスピーカーで、午前7時と午後6時の定時放送と、非常時などの緊急放送を始めました。

9 中野住宅団地造成工事完成

〔昭和48年3月〕

県企業局が昭和46年4月から約2年間をかけて造成した中野住宅団地が完成し、分譲を始めました。

**10 邑楽町公民館社会福祉センター完成**〔昭和48年3月〕**11 第三浄水場完成**〔昭和49年9月〕**12 長柄小学校中央・東校舎全焼**〔昭和50年8月〕**13 長柄小学校新築校舎完成**〔昭和51年3月〕**12 町立集会所完成**〔昭和50年3月〕
新中野住宅団地に、大会議室、レクリエーション室、談話室などを備えた2階建の集会所ができました。**15 高島小学校増改築工事完成**〔昭和51年12月〕**16 集中豪雨による水害**〔昭和52年7月〕
7月16日夜、雨量100ミリを超過集中豪雨に襲われ、水田の冠水296.5ha、床下浸水25戸の被害となりました。

1972

昭和47年

- 1月 ● 邑楽町紋章制定（秋妻、高田明氏創案）
- 3月 ● 屋外有線放送開始（町内17か所） **8**
- 3月 ● 大黒土地改良（水田転換）完成
- 6月 ● 青少年広場完成
- 6月 ● 第22回関東高校女子ソフトボール選手権大会開催（6月2・3・4日）
- 10月 ● 邑楽工業団地造成工事完成

社会の主なできごと

- 1月 ● 元日本兵横井庄一さんグアム島で発見
- 2月 ● 冬季オリンピック札幌大会開催
- 5月 ● 沖縄県が誕生

1973

昭和48年

- 3月 ● 都市計画区域告示
- 3月 ● 中野住宅団地造成工事完成（6月一般分譲） **9**
- 3月 ● 南保育園完成
- 3月 ● 邑楽町公民館社会福祉センター完成 **10**
- 4月 ● 農業共済事業 町に移管
- 8月 ● 邑楽局完成、電話自動化される
- 10月 ● 衛生委員制度発足

社会の主なできごと

- 10月 ● 石油危機でバニック
- 12月 ● 江崎玲於奈氏ノーベル物理学賞を受賞

1974

昭和49年

- 8月 ● 町誌編さん開始
- 9月 ● 第三浄水場完成（第4次拡張工事） **11**
- 11月 ● 中野小学校増築工事完成

社会の主なできごと

- 5月 ● 日本女性隊マナスル登頂に成功
- 10月 ● 群馬県立近代美術館が完成
- 10月 ● 佐藤栄作元首相、ノーベル平和賞受賞

1975

昭和50年

- 2月 ● 北保育園完成
- 3月 ● 町立集会所（新中野）完成 **12**
- 5月 ● 邑楽町町歌・邑楽町音頭発表（作詞：酒井良之助 作曲：美山幸成）
- 8月 ● 長柄小学校（中央校舎・東校舎）全焼 **13**
- 10月 ● 国勢調査人口17,793人、世帯数4,233世帯、人口増加率18.4%は県下第4位

社会の主なできごと

- 3月 ● 山陽新幹線岡山・博多間開通
- 4月 ● ベトナム戦争終戦
- 7月 ● 沖縄海洋博覧会開催

1976

昭和51年

- 3月 ● 長柄小学校新築校舎完成 **14**
- 3月 ● 町立東原集会所完成
- 4月 ● 大泉町外二カ町村環境衛生施設組合（2町1村）発足
- 4月 ● 冠婚葬祭簡素化運動開始
- 10月 ● 社会福祉協議会法人化
- 12月 ● 高島小学校増改築工事完成 **15**
- 12月 ● 合併20周年記念式典・中小企業物産展開催
- 12月 ● 町営埴堀住宅団地10戸完成

社会の主なできごと

- 1月 ● 鹿児島でわが国初の5つ子誕生
- 12月 ● 福田内閣発足

1977

昭和52年

- 1月 ● 石打児童公園完成
- 7月 ● 集中豪雨により床下浸水家屋25戸、水田296.5ヘクタールの冠水 **16**
- 8月 ● 都市計画区域線引き決定
- 10月 ● 知事と話し合うつどい開催
- 11月 ● 文化協会設立

社会の主なできごと

- 7月 ● 200カイリ漁業水域法が成立
- 9月 ● 読売巨人軍王貞治選手756号のホームラン世界記録樹立

1978
昭和53年

1981
昭和56年

昭和50年代後半になると、日本経済は安定成長の時代に入り、人々の生活にもゆとりが生まれてきました。そのような中、邑楽町では、町民生活の安定と自然環境の保全を基調とした新総合計画を策定しました。

町制施行以来、首都圏都市開発区域の指定を受け、開発が進められてきた本町ですが、急激な人口の増加、工業団地の造成や企業の立地などによって総合計画の見直しが必要となり、昭和53年3月、「緑と水の活力にみちた農工調和の町」を目指した新総合計画が策定されました。

町制施行10周年を記念して町民憲章や町のシンボルである町の木・町の花が制定されたり、58年には町の自然や歴史をまとめた町誌が発刊されるなど、町民の心を一つにつないで、新しいまちづくりが着々と進められた年代です。

ゆとりと潤いのある暮らしのために、スポーツ活動の拠点として町民体育館や武道館、憩いの場として多々良沼公園や老人福祉センターなどが造られました。

昭和61年には、FC邑楽が全日本少年サッカー大会で優勝という快挙を成し遂げ、「サッカーの町」として全国にその名をとどろかせたのもこの年代でした。



1 町民体育館完成 [昭和53年2月]



3 完成した学校給食センター [昭和54年3月]



2 町制施行10周年記念式典で発表された町民憲章 [昭和53年6月]
町内在住、在勤の学識者17名からなる起草委員会で作案・検討されてつくられました。

1978
昭和53年

- 1月 町営埴堀住宅団地20戸完成
- 2月 町民体育館完成 1
- 2月 高島幼稚園完成
- 3月 邑楽町新総合計画策定
- 3月 人口2万人を突破
- 4月 納税の口座振替実施
- 6月 町制施行10周年記念式典開催 2
- 7月 町民憲章、町の木（アカマツ）町の花（ヤマツツジ）制定

社会の主なできごと
5月 成田空港が開港

1979
昭和54年

- 2月 長柄幼稚園完成
- 3月 邑楽中学校屋内運動場全焼
- 3月 青少年広場夜間照明施設完成
- 3月 学校給食センター完成 3
- 4月 風の子保育園開園
- 8月 緑ヶ岡公園夜間照明施設完成
- 9月 鞍掛第1・2工業団地完成 4
- 10月 神光寺の大力ヤ、県の天然記念物に指定 5
- 12月 邑楽中学校屋内運動場完成
- 12月 邑楽中学校増築工事完成

社会の主なできごと
1月 国公立大学初の共通一次試験実施
6月 木曽御岳山が有史以来の噴火

1980
昭和55年

- 3月 中野幼稚園完成 6
- 3月 武道館完成 7
- 3月 第三児童館完成
- 5月 多々良沼公園浮島橋完成渡り初め 8
- 10月 国勢調査人口21,869人、世帯数5,491世帯、人口増加率22.9%は県下第2位
- 10月 第1回行政区対抗無事故無違反コンクール実施

社会の主なできごと
4月 県立女子大が開学
7月 オリンピックモスクワ大会に日本不参加

1981
昭和56年

- 3月 農村広場完成
- 3月 老人福祉センター完成 9
- 4月 社会福祉法人館邑会陽光園開所

社会の主なできごと
4月 アメリカスペースシャトル発射
10月 福井謙一京大教授ノーベル化学賞受賞



4 造成工事完了の鞍掛工業団地 [昭和54年9月]



6 開園した中野幼稚園 [昭和55年3月]



5 神光寺の大力ヤが県の天然記念物に指定 [昭和54年10月]



7 武道館完成 [昭和55年3月]



8 多々良沼公園浮島橋渡り初め [昭和55年5月]

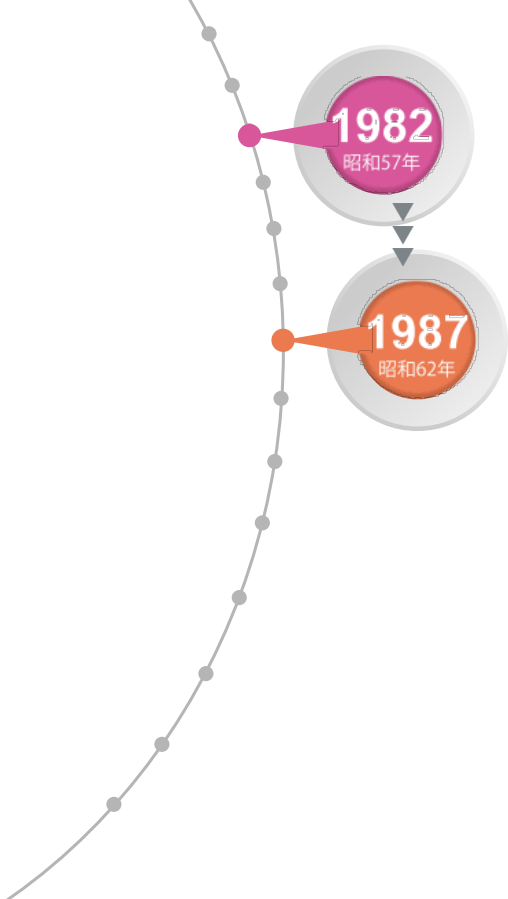
自然保護と住民の憩いの場として整備が進められていた多々良沼公園の、鶴小城から弁天様の間に浮島橋が完成し、渡り初めが行われました。

9 老人福祉センター完成 [昭和56年3月]



この時代は…1978年―1987年
●安定成長の時代になり、余暇を楽しむ余裕が生まれた。
●モノからサービスへ」「重厚長大から軽薄短小」と価値観が変化。
●東北・上越新幹線の開通により地方が身近な存在になる。
●N・T・J・Rなど次々に民営化がスタート。

農工調和の町へ。



1982
昭和57年

1987
昭和62年



10 台風18号による被害
[昭和57年 9月]



11 水稲被害状況視察のため県知事来町
[昭和57年 10月]
台風18号により農作物の被害額は1億7,000万円を超え、知事が状況視察に訪れました。



12 邑楽町誌の発刊 [昭和58年 2月]



13 長柄小学校増改築校舎完成
[昭和58年 3月]



15 中野浄水場完成 [昭和59年 3月]



16 邑楽南中学校完成 [昭和60年 3月]



17 共同福祉施設完成 [昭和60年 3月]



14 あかぎ国体炬火リレー [昭和58年 9月]
岩宿遺跡で採火された「岩宿の火」が桐生の炬火リレー隊から引き継がれ、町内5か所の引き継ぎ所を経て館林の炬火リレー隊に渡されました。



20 F C 邑楽全国制覇 [昭和61年 8月]
第10回全日本少年サッカー大会に、県代表として出場したF C 邑楽が初優勝の栄冠を勝ち取りました。



18 産業研修会館完成 [昭和60年 10月]



19 南中学校屋内運動場完成
[昭和61年 2月]



21 完成した明野団地 [昭和62年 8月]
中野第二住宅団地の大字が新しく「明野」となりました。

1982
昭和57年

- 4月 ● 農地銀行開設
- 4月 ● 第1回公民館まつり開催
- 9月 ● 台風18号により床上・床下浸水家屋70戸の被害 10
- 10月 ● 水稲被害状況視察のため、県知事来町 11

社会の主なできごと

- 4月 ● 500円硬貨を発行
- 11月 ● 上越新幹線が開業
- 11月 ● 中曽根内閣発足

1983
昭和58年

- 2月 ● 邑楽町誌発刊 12
- 3月 ● 長柄小学校増改築校舎完成 13
- 4月 ● 生活圏道路（1・2級町道）舗装率72%に
- 6月 ● 県立緑化センター開所
- 8月 ● 都市計画道路南部幹線（篠塚一部を除く）決定

社会の主なできごと

- 5月 ● 日本海中部地震で死者、行方不明者102人
- 9月 ● あかぎ国体開催 14
- 9月 ● 大韓航空機が撃墜され、269人死亡
- 10月 ● 三宅島雄山が噴火

1984
昭和59年

- 3月 ● 高島小学校増改築校舎完成
- 3月 ● 中野浄水場（第5次水道事業拡張工事）完成 15
- 4月 ● 生活圏道路（1・2級町道）の舗装率78%に

社会の主なできごと

- 7月 ● オリンピックロサンゼルス大会開催
- 11月 ● 1万・5千・千円札が文化人トリオに

1985
昭和60年

- 3月 ● 邑楽南中学校新築校舎完成 16
- 3月 ● 共同福祉施設完成 17
- 7月 ● 邑楽南中学校プール完成
- 10月 ● 産業研修会館完成 18
- 10月 ● 国勢調査人口24,217人、世帯数6,319世帯、人口増加率10.7%は県下第5位
- 11月 ● 水道災害相互応援協定締結（1市5町）

社会の主なできごと

- 3月 ● つくば科学万博開催
- 8月 ● 日航機上野村に墜落、死者520人、4人が奇跡の生還

1986
昭和61年

- 2月 ● 邑楽南中学校屋内運動場完成 19
- 3月 ● 中野沼農地開発事業が完成
- 3月 ● 新農業構造改善事業ミニ・ライスセンター（十三軒・本郷江原地区）完成
- 6月 ● 老人福祉センター利用者30万人を突破
- 8月 ● 第10回全日本少年サッカー大会でFC邑楽優勝 20
- 8月 ● 台風10号により床上浸水34戸、水田149ヘクタールが冠水
- 9月 ● 都市計画道路南部幹線未決定部分と篠塚常光寺線が計画決定
- 12月 ● 邑楽町第三次総合計画策定

社会の主なできごと

- 4月 ● 400ml成分献血制度スタート
- 4月 ● ソ連チェルノブイリ原発事故
- 11月 ● 伊豆大島三原山が噴火

1987
昭和62年

- 4月 ● 館林邑楽農業共済事務組合（1市4町1村が発足）
- 8月 ● 中野第二住宅団地完成（9月分譲開始） 21
- 10月 ● 中野第二住宅団地を「明野」と命名

社会の主なできごと

- 4月 ● 国鉄の分割・民営化に伴いJR新会社がスタート
- 6月 ● 鉄人衣笠2,131試合連続出場世界記録を樹立
- 10月 ● 利根川進・米マサチューセッツ工科大学教授にノーベル医学生理学賞

1988
昭和63年1991
平成3年

バブル景気から平成不況へと、社会情勢が目まぐるしく変化した年代。
邑楽町では、ふるさと創生事業としてシンボルタワーが建設されました。
また、緑豊かな公園の中に公共施設を整備する事業もスタートしました。

昭和から平成へと変わったこの年代、目前に迫った21世紀へと夢をつなぐ事業が次々とスタートしました。

平成元年、各層から選ばれた町民からなる「21世紀夢倶楽部」が設置され、ふるさと創生事業としてシンボルタワー「未来MiRAi」の建設が決定。平成5年に完成したタワーは、町のランドマークとなり、未来に羽ばたく邑楽町の姿を象徴するものとなりました。

町の中心部の豊かな自然の中に、シンボルタワーを中央として、平成7年には町立図書館、8年にはあいあいセンターと、次々に邑楽町の新しい顔が整備されていきました。

また、この事業の一環として、長い間氾濫を繰り返していた孫兵衛川を、人に親しまれる自然豊かな川として改修。国にも高く評価され、孫兵衛川はふるさとの川モデル河川に指定されました。

夏の一大イベント「おうら祭り」が始まったのもこの年代です。



1 ぬくもりの里開所【昭和63年2月】



2 中野東小学校完成【昭和63年3月】

3 町制施行20周年記念式典【昭和63年4月】
町民体育館を会場に、まちづくりに貢献した人の表彰などが行われました。

6 邑楽中学校サッカー部全国大会3位入賞祝賀会【平成元年8月】



4 全日本ジュニアバドミントン選手権大会【昭和63年11月】



5 浮島弁財天の大開扉祭典【平成元年5月】

13 シンボルタワー「未来MiRAi」オープン【平成5年5月】
ふるさと創生事業としてつくられた高さ56.5mのシンボルタワー。「町に誇れるものを」という町民の願いが形になりました。

7 デイ・サービスセンター完成【平成2年2月】



8 勤労青少年ホーム完成【平成2年3月】



9 商工会館完成【平成2年3月】



10 高島小学校屋内運動場とプール完成【平成2年3月】



11 Jライスセンター完成【平成2年8月】

13 第1回おうら祭り【平成3年7月】
おみこしやマーチングバンドの登場する町民パレードや、八木節などで盛り上がった納涼祭など、様々な催し物が行われました。1988
昭和63年1989
平成元年1990
平成2年1991
平成3年

- この時代は…1988年～1997年
- 1月 渡部美咲さん（新中野）第16回ローザンヌ国際パレエコンクールでエスポワール賞（新人賞）を受賞
 - 2月 高齢者作品販売センター 邑楽ぬくもりの里開所 1
 - 3月 中野東小学校校舎・屋内運動場完成 2
 - 4月 町制施行20周年記念式典開催 3
 - 8月 役場窓口業務オンラインシステム稼働
 - 9月 行政区に「明野」が加わり、34行政区となる
 - 11月 全日本ジュニアバドミントン選手権大会開催 4

社会の主なできごと

- 3月 北海道と青森県を結ぶ青函トンネル開通
- 3月 全天候型多目的スタジアム「東京ドーム」落成
- 4月 瀬戸大橋が開通、本州と四国が陸続きに
- 9月 ソウルオリンピック開幕

- 3月 町民テニスコート完成（全天候3面、グリーンコート3面、壁打ち1面）
- 5月 浮島弁財天、60年に一度の大開扉祭典 5
- 8月 邑楽中学校サッカー部、全国中学校サッカー大会で3位に入賞 6

社会の主なできごと

- 1月 昭和天皇崩御、元号が「昭和」から「平成」へ
- 4月 消費税が導入される
- 6月 歌手の美空ひばりさん死去、国民栄誉賞贈られる
- 11月 ドイツを東西に分けるベルリンの壁崩壊

- 2月 デイ・サービスセンター完成 7
- 3月 勤労青少年ホーム（おうらヤングプラザ）完成 8
- 3月 商工会館完成 9
- 3月 高島小学校屋内運動場とプール完成 10
- 8月 JAライスセンター完成 11

社会の主なできごと

- 10月 東西ドイツ統一、「ドイツ連邦共和国」発足
- 12月 秋山豊寛さん、日本人初の宇宙飛行士としてソ連の宇宙ステーション「ミール」に乗り込み、地球を144周、9日間の飛行

- 7月 孫兵衛川「ふるさとの川モデル河川」に指定 12
- 7月 中野東小学校で「第1回おうら祭り」開催 13
- 7月 JAカントリーエレベーター完成
- 8月 広域幹線道路一部開通

社会の主なできごと

- 1月 多国籍軍がクウェートで作戦を展開し、湾岸戦争勃発
- 6月 雲仙・普賢岳のふもとと島原市で火砕流による被害、死者37名、行方不明4名



12 孫兵衛川が「ふるさとの川モデル河川」に【平成3年7月】

明るく住み良い町へ。

この時代は…1988年～1997年

●波乱に満ちた昭和が終わる、平成の時代に。
●前半はバブル景気に乗り各地で地域おこしが盛ん、後半は一気に景気が後退。
●東西ドイツの統一、湾岸戦争勃発、ソ連消滅など、世界情勢が大きく変化。
●阪神淡路大震災、地下鉄サリン事件など、日本中を震撼させた大きな災害や事件が発生。

1992
平成4年

1997
平成9年



19福祉作業所完成
〔平成7年3月〕



20あいあいセンター完成
〔平成8年3月〕



14勤労者体育センター完成
〔平成4年3月〕



22一般廃棄物最終処分場完成
〔平成9年5月〕



17町立図書館オープン
〔平成7年1月〕



26上水道の県水受水開始
〔平成9年11月〕



15完成したシンボルタワー
「未来MIRAI」〔平成5年5月〕



21元日本代表・木村和司さんを招いてサッカー教室開催
〔平成8年3月〕



23F C 邑楽、第21回全日本少年サッカー大会で準優勝
〔平成9年8月〕
決勝まで安定した戦いで勝ち進んだF C 邑楽は、優勝は逃したものの、フェアプレー賞を獲得する活躍でした。



16シンボルタワーマラソン大会
〔平成6年12月〕
町民健康マラソンを発展させ、距離や年齢などでのクラス分けを増やした大会。第1回大会には764 人もの人が参加しました。



18高島小学校のトウグミが県の天然記念物に指定
〔平成7年3月〕



24老人福祉センター利用者100万人突破
〔平成9年8月〕



27長柄小学校屋内運動場完成
〔平成9年12月〕

1992
平成4年

- 3月 ● 勤労者体育センター完成 14
- 3月 ● スポーツレクリエーション広場完成

1993
平成5年

- 5月 ● シンボルタワー「未来MIRAI」オープン【11P 15】
- 6月 ● 鞍掛第三工業団地を市街化区域に編入

1994
平成6年

- 8月 ● 老人福祉センター利用者80万人突破
- 12月 ● 第1回シンボルタワーマラソン大会開催 16

1995
平成7年

- 1月 ● 町立図書館オープン 17
- 2月 ● シンボルタワー入場者5万人突破
- 3月 ● 高島小学校のトウグミ、県の天然記念物に指定 18
- 3月 ● 福祉作業所完成 19
- 10月 ● 国勢調査人口27,421人、世帯数は7,960世帯
- 11月 ● 鞍掛第三工業団地、造成工事開始

1996
平成8年

- 3月 ● あいあいセンター完成 20
- 3月 ● 鞍掛第三工業団地、2期工事開始
- 3月 ● 元日本代表・木村和司さんを招いてサッカー教室開催 21
- 5月 ● 邑楽町第四次総合計画策定
- 5月 ● 邑楽町ホームページ開設
- 8月 ● 中学生国際交流事業開始、15人の中学生がオーストラリアのシドニーでホームステイを体験
- 10月 ● 昭和12年からはじまった東武鉄道小泉線の貨物輸送廃止

1997
平成9年

- 5月 ● 大泉町外二町環境衛生施設組合の一般廃棄物最終処分場が狸塚に完成 22
- 8月 ● FC邑楽が第21回全日本少年サッカー大会で準優勝 23
- 8月 ● 老人福祉センター利用者100万人突破 24
- 10月 ● シンボルタワー入場者10万人達成 25
- 11月 ● 上水道の県水受水開始 26
- 12月 ● 長柄小学校屋内運動場完成 27

社会の主なできごと

- 4月 ● 「ぐんまフラワーパーク」開園
- 9月 ● 学校週5日制スタート
- 9月 ● 日本人宇宙飛行士毛利衛さん、スペースシャトル「エンデバー」で宇宙へ

社会の主なできごと

- 5月 ● 日本プロサッカーリーグ（Jリーグ）がスタート
- 7月 ● 北海道南西沖地震発生、津波などにより、死者181人、行方不明64人
- 10月 ● 冷夏の影響で米が大凶作、各地で米不足となり、外国からの輸入を決定
- 10月 ● 群馬県人口200万人突破

社会の主なできごと

- 5月 ● F1レーサー、ブラジルのアイルトン・セナ、イタリアのサンマリノGPでレース中に事故死
- 7月 ● 日本人初の女性宇宙飛行士、館林市出身の向井千秋さんがスペースシャトル「コロンビア」で宇宙へ
- 8月 ● 記録的な猛暑により全国的に水不足
- 9月 ● 世界初の海上空港「関西空港」が開港

社会の主なできごと

- 1月 ● 阪神淡路大震災発生、死者6,055人
- 3月 ● 地下鉄の電車や駅構内に猛毒の「サリン」が散布され、7人が死亡、5,500人が重軽傷
- 10月 ● 群馬県人口200万人記念映画「眠る男」完成、12月から県内全市町村で上映

社会の主なできごと

- 7月 ● 病原性大腸菌O-157による食中毒が全国で発生
- 8月 ● 俳優の渥美清さん死去、国民栄誉賞贈られる
- 12月 ● ベルーで日本大使館が過激派グループ「トゥバク・アマル」に占拠される

社会の主なできごと

- 1月 ● ロシア船籍タンカー「ナホトカ号」が島根県沖で沈没、大量の重油が流出し、日本海沿岸に大きな被害を与える
- 7月 ● 香港がイギリスの植民地支配を終え、中国に返還される
- 8月 ● イギリスの元皇太子妃ダイアナさんがパリで交通事故死

1998
平成10年

2002
平成14年

21世紀が始まり、少子高齢化や高度情報化が急速に進展。
一方で、温暖化など環境問題も深刻化してきました。
邑楽町でも、福祉施策の充実や豊かな自然と調和した整備を進め、
次の時代へと手渡す準備を整えました。

官から民へと国の方針が移行してきた21世紀
は、地方のまちづくりも住民主体で行われるよ
うになりました。

邑楽町では、保育園や児童館の整備充実、子
育て支援センター事業などの少子化対策や、保
健センターの建設、障害者福祉計画の策定な
ど、保健・福祉事業に力が注がれました。

環境対策としては、ごみの分別収集や、ポイ
捨て・犬のふん害防止条例の施行などがスター
ト。環境にやさしい乗り物として公共路線バス
の運行も始まりました。

平成15年、ふれあいとやすらぎの水辺空間を
目指して、平成10年から整備が進められていた
「おうら中央公園」が完成。町民ボランティア
の皆さんが協力して管理していく公園は21世紀
のまちづくりにふさわしい形となりました。

平成20年には、役場新庁舎が完成。町の将来
像の実現に向けた大きな一歩です。



1 町制施行30周年記念式典【平成10年4月】
4月29日の記念式典は、出席者約1,000人。121人の皆さんが自治功労表彰を受けました。



2 中央保育園完成【平成10年4月】
老朽化した中央保育園が新築・移転。敷地は以前の4倍になり、園庭には様々な遊具が用意されました。



3 おうら創造の森オープン【平成10年5月】
平たん地のモデル林として造られました。車いすなどにも対応したバリアフリーが特徴です。



4 第16回国民文化祭「食の文化祭」開催【平成13年11月】
「粉食の文化」というテーマで開催され、伝統的な食事メニューの再現や試食、調理体験などが行われました。



5 広域公共路線バス「館林・邑楽・千代田線」の運行開始【平成14年10月】
館林駅前と千代田町役場前を結ぶ路線バス。通勤・通学、レジャーなどに活用されています。

1998
平成10年

1999
平成11年

2000
平成12年

2001
平成13年

2002
平成14年

- 4月 ● 町制施行30周年記念式典 **1**
- 4月 ● 中央保育園完成 **2**
- 4月 ● 子育て支援センター事業スタート（中央保育園、H16年度から風の子もスタート）
- 4月 ● おうら中央公園完成
- 5月 ● 県立森林公園「おうら創造の森」がオープン **3**
- 6月 ● 女子バレーボール招待試合
- 8月 ● NHK ラジオ体操
- 10月 ● 分別収集スタート
- 11月 ● 邑の字3町TVサミット

社会の主なできごと

- 2月 ● 冬季五輪長野大会開催
- 3月 ● 前橋地方法務局大泉出張所（登記所）廃止
- 6月 ● サッカーワールドカップ・フランス大会開催
- 7月 ● 和歌山カレー毒物混入事件発生
- 12月 ● イラク空爆

- 7月 ● 町立図書館の貸し出し点数が100万点を超える
- 7月 ● 中野沼と水生動植物群が町指定の文化財に

社会の主なできごと

- 2月 ● 日本初の脳死心臓移植
- 9月 ● 東海村のJCOで臨界事故発生
- 10月 ● 自公公連立

- 4月 ● 東児童館新築事業完成
- 4月 ● 水道課事務所移転
- 7月 ● 邑楽町公共下水道供用開始
- 9月 ● 高島小学校東校舎耐震補強・大規模改修工事
- 12月 ● 大泉町との連絡管供用開始

社会の主なできごと

- 3月 ● 有珠山噴火
- 9月 ● 三宅島噴火 全島避難
- 9月 ● シドニー五輪開催 高橋尚子選手が金メダル
- 10月 ● 長野県知事に田中康夫氏就任

- 11月 ● シンボルタワー入場者が15万人を達成
- 11月 ● 第16回国民文化祭「食の文化祭」開催 **4**
- 11月 ● 鶯区画整理事業開始

社会の主なできごと

- 1月 ● 米ブッシュ政権発足
- 4月 ● 小泉内閣誕生
- 9月 ● 米同時多発テロ発生
- 12月 ● 敬宮愛子さま誕生

- 2月 ● 中野小学校屋内運動場改築工事
- 4月 ● 一時保育事業スタート（中央保育園、H16年度から風の子、H17年度から南保育園）
- 7月 ● 中野、第三浄水場連絡管工事完了
- 8月 ● 町立図書館の貸し出し点数が200万点を超える
- 10月 ● 広域公共路線バス「館林・邑楽・千代田線」の運行開始 **5**

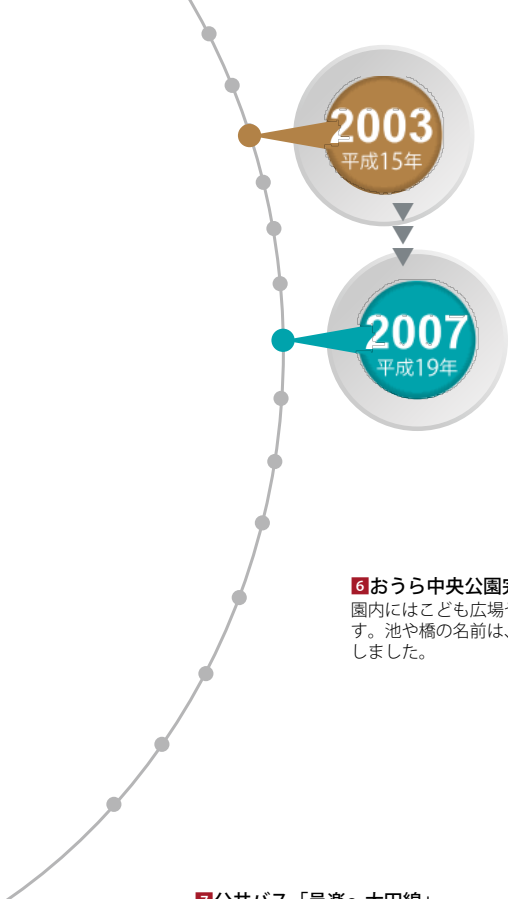
社会の主なできごと

- 1月 ● 雪印、偽装工作が表面化
- 2月 ● ソルトレーク冬季五輪開催
- 5月 ● 日韓共催サッカーワールドカップ開催
- 8月 ● ノーベル賞小柴昌俊氏・田中耕一氏 日本初のダブル受賞
- 9月 ● 日朝首脳会談、拉致被害者5人帰国（10.15）

この時代は…1998年～2007年

- 平成不況から徐々に抜け出し、日本経済は回復傾向に。
- インターネットの普及、地上デジタル放送開始など高度情報化社会が到来。
- 男女共同参画社会がキーワードに。
- 地球温暖化防止のためのクールビズ・ウォームビズが推奨される。

魅力ある町へ。



2003
平成15年

2007
平成19年

6 おうら中央公園完成 [平成15年3月]
園内にはこども広場や噴水広場などがあります。池や橋の名前は、町民からの公募で決定しました。



7 公共バス「邑楽～太田線」運行開始 [平成17年2月]
町内の東武小泉線本中野駅、福祉センター、県緑化センターなどを經由して太田駅南口や太田ショッピングセンターを結びます。



11 第60回群馬県植樹祭 [平成18年5月]
邑楽町と館林市にまたがる多々良沼公園で行われたイベント。クスギやコナラ、ヤマツツジなどの苗木を植樹しました。



8 町立図書館の貸し出し点数が300万点を超える [平成17年2月]
300万冊目の利用者となった横山さんには花束が贈られました。



10 第1回上武洋次郎杯邑楽町少年少女レスリング大会 [平成17年11月]



9 シンボルタワー入場者が20万人を達成 [平成17年5月]
20万人目は、佐藤さん一家。「初めて登りました。景色がよく見えていいですね」と感激のようでした。

13 邑楽町役場新庁舎完成 [平成20年3月]
平成18年11月に建設が始まった新庁舎が完成しました。



2003
平成15年

- 2月 ● 館林市との災害時水道連絡管供用開始
- 3月 ● おうら中央公園完成 **6**
- 3月 ● 西邑楽三町任意合併協議会設立
- 8月 ● 住民基本台帳ネットワークシステム稼働
- 9月 ● 邑楽中学校北校舎（東棟）耐震補強・大規模改造工事完成
- 10月 ● ごみのポイ捨て・犬のふん害防止条例施行

社会の主なできごと

- 5月 ● 個人情報保護法が成立
- 7月 ● イラク復興支援特措法成立、自衛隊派遣へ
- 11月 ● 邦人外交官2人がイラクで殺害

2004
平成16年

- 1月 ● 篠塚長柄神社の里神楽が町の重要無形民俗文化財に指定される
- 3月 ● 次世代育成支援対策推進事業（邑楽町次世代育成支援行動計画を策定）
- 7月 ● 西邑楽三町（大泉町・千代田町・邑楽町）合併協議会（法定）設置
- 10月 ● 邑楽中学校北校舎（西棟）耐震補強・大規模改造工事完成
- 12月 ● 西邑楽三町合併協議会休止

社会の主なできごと

- 1月 ● 鳥インフルエンザの猛威アジアで広がる
- 5月 ● 拉致被害者家族が日本に帰国
- 8月 ● アテネ五輪で、日本選手団が史上最多のメダル
- 10月 ● 新潟県中越地震発生、新幹線が初めて脱線

2005
平成17年

- 1月 ● 新年賀詞交歓会スタート
- 2月 ● 公共バス「邑楽～太田線」運行開始 **7**
- 2月 ● 町制施行以来最多人数となる2万7,983人（住基人口）を記録。世帯数は8,820世帯
- 2月 ● 町のオリジナル写真付き切手の製作・販売
- 2月 ● 南極昭和基地とのテレビ会議
- 2月 ● 町立図書館の貸し出し点数が300万点を超える **8**
- 3月 ● 中野沼公園完成
- 3月 ● 邑楽町都市計画マスタープランを策定
- 3月 ● 戸籍電算化システム稼働
- 4月 ● 町内の小・中学生が南極観測砕氷船「しらせ」体験航海
- 5月 ● 南保育園完成
- 5月 ● シンボルタワー入場者が20万人達成 **9**
- 6月 ● 千代田町との災害時水道連絡管供用開始
- 10月 ● 長柄小学校管理教室棟耐震補強・大規模改造工事完成

- 11月 ● 名誉町民顕彰事業開始（第一号は小幡洋次郎さん）
- 11月 ● 第1回上武洋次郎杯邑楽町少年少女レスリング大会開催 **10**
- 12月 ● おうらお知らせメール開始

社会の主なできごと

- 3月 ● 愛・地球博（愛知万博）開幕
- 4月 ● JR福知山線脱線事故発生
- 11月 ● 紀宮さまご結婚
- 11月 ● 耐震強度偽装事件発覚

2006
平成18年

- 1月 ● 福祉センター寿荘利用者150万人突破
- 3月 ● 邑楽町第五次総合計画を策定
- 3月 ● 邑楽町集中改革プランを策定
- 3月 ● 邑楽町安全安心まちづくり推進条例を施行
- 3月 ● 北児童館完成
- 3月 ● 南児童館完成
- 5月 ● 第60回群馬県植樹祭（会場：多々良沼公園） **11**
- 8月 ● 邑楽町保健センター完成 [P14 **12**]

社会の主なできごと

- 2月 ● トリノ冬季五輪で荒川静香選手が金メダル
- 3月 ● ワールド・ベースボール・クラシックで日本優勝
- 9月 ● 秋篠宮妃紀子さま、男子ご出産（悠仁親王）

2007
平成19年

- 3月 ● 邑楽町障害福祉計画を策定
- 4月 ● 邑楽町障害者福祉計画を策定
- 4月 ● 世帯数が9,000世帯を突破して9,085世帯となる。人口は2万7,779人
- 7月 ● 公共バス「邑楽～太田線」路線変更・ダイヤ改正
- 7月 ● 町立図書館の貸し出し点数400万点を超える
- 9月 ● 町広報誌とホームページに有料広告の掲載スタート
- 10月 ● 中野小学校南校舎・北校舎東棟耐震補強・大規模改造工事完成

社会の主なできごと

- 1月 ● 宮崎県知事に東国原英夫氏当選
- 7月 ● 参院選、自民党惨敗
- 8月 ● 記録的な猛暑
- 11月 ● 守屋前防衛次官、収賄で逮捕

2008
平成20年

2012
平成24年

リーマンショックの影響を受け、世界的不況とともに日本経済も低迷の時期に。また、東日本大震災をはじめとする、大規模な災害が多く発生もしました。邑楽町では、教育施設などの耐震補強や改修、防災マップの作成など、全国的に高まる防災意識に応える時代となりました。

スマートフォンが爆発的に普及したことにより、IT化も急加速。災害時でも様々な情報の収集や発信が便利にできるようになってきたのはこの頃です。

邑楽町ではこの10年の間で、災害に備えるべく邑楽中学校屋内運動場、中野小学校、邑楽町公民館、町民体育館、武道館などの耐震補強を実施しました。

また、防災倉庫の設置や防災マップの作製、地域防災計画の策定など、防災対策に対する関心の高まりへの課題をひとつずつクリアしてきました。

教育の分野では、老朽化していた長柄小学校および中野小学校のプールの改築を行い、さらに長柄幼稚園、高島幼稚園、北保育園の改築による新園舎を完成させ、未来を担う子どもたちが成長するための環境整備にも力を注いできました。

そして、役場周辺の新たな賑わい創出のため、平成26年より都市再生整備事業を活用して、平成27年にはおうら中央多目的広場が完成。

町制施行50周年を迎えた平成30年には、ついに中央公民館が完成。「邑楽町らしさ」の発信基地となります。この中央公民館も大いに活用し、やさしさと活気の調和した、夢あふれるまちづくりが進められます。



1 町制施行40周年記念式典 [平成20年11月]
記念式典を11月30日に開催し、自治功労者表彰などを行いました。



2 町立図書館の貸し出し点数が500万点を越える [平成21年8月]



3 学校給食センター新築移転 [平成23年8月]



4 新はくちょう号出発式 [平成24年1月]

5 石打町営住宅A棟完成 [平成24年3月] RC造3階建て(24戸)翌年にはB棟(23戸)も完成。



2008
平成20年

- 11月 ● 町制施行40周年記念式典 1
- 12月 ● 邑楽中学校屋内運動場耐震補強・トイレ改修工事完成

社会の主なできごと

- 1月 ● 冷凍ギョーザ中毒事件
- 6月 ● 秋葉原無差別殺人事件
- 6月 ● iPhone登場でスマホ時代始まる
- 8月 ● 北京五輪、日本人は金9個
- 9月 ● リーマン・ショックで世界同時不況に 福田首相辞任、麻生内閣誕生
- 11月 ● 米オバマ政権発足

2009
平成21年

- 1月 ● あいあいセンターの指定管理者による管理開始
- 3月 ● 小中学校地上デジタル対策工事完成
- 8月 ● 町立図書館の貸し出し点数が500万点を越える 2
- 10月 ● 中野小学校中学校舎・北校舎西棟耐震補強・大規模改修工事完成
- 10月 ● シンボルタワー入場者が25万人達成

社会の主なできごと

- 4月 ● 米クライスラー破綻。GMも続く
- 5月 ● 「裁判員制度」がスタート
- 5月 ● 新型インフルエンザ世界的流行でフェーズ6
- 6月 ● 足利事件菅家さん「無実」で17年半ぶり釈放
- 9月 ● 自民党大敗北、連立鳩山内閣に「政権交代」
- 9月 ● イチロー9年連続200安打、松井WSでMVP
- 11月 ● 民主党政権「事業仕分け」開始

2010
平成22年

- 3月 ● 次世代育成支援行動計画(後期計画)を策定
- 4月 ● 邑楽町消費生活センター設置
- 10月 ● 国勢調査 人口27,023人、世帯数は9,196世帯

社会の主なできごと

- 1月 ● 横綱・朝青龍、暴力事件をきっかけに引退
- 4月 ● 宮崎で家畜の伝染病・口蹄疫拡大
- 5月 ● 中国上海万博開催
- 6月 ● サッカー南アW杯で日本代表ベスト16
- 7月 ● 参院選で民主惨敗。ねじれ国会へ
- 10月 ● チリ落盤事故で生存33人全員救出
- 10月 ● 羽田空港国際線ターミナル開業

2011
平成23年

- 1月 ● 町立図書館の貸し出し点数が600万点を越える
- 8月 ● 学校給食センター新築移転 3
- 10月 ● 国営総合農地防災事業「渡良瀬川中央地区」事業完了
- 12月 ● 小中学校・幼稚園 エアコン整備工事完成

社会の主なできごと

- 3月 ● 東日本大震災発生
- 5月 ● 米軍、ビンラディン容疑者を殺害
- 7月 ● サッカー女子W杯なでしこジャパン優勝
- 10月 ● スティーブ・ジョブズ死去
- 11月 ● 野田首相、TPP交渉への参加表明
- 12月 ● 北朝鮮・金正日総書記死去、金正恩体制へ

2012
平成24年

- 1月 ● 移動図書館車新「はくちょう号」出発式 4
- 3月 ● 石打町営住宅A棟が完成 5
- 7月 ● 移動図書館車旧「はくちょう号」一般社団法人日本外交協会に引き渡し
- 12月 ● 邑楽町公民館耐震補強・改修等工事完成

社会の主なできごと

- 5月 ● 東京スカイツリー開業
- 8月 ● 14年8%、15年10%の消費増税法案衆院可決
- 8月 ● ロンドン五輪で日本史上最多メダル38個
- 9月 ● 日本尖閣諸島国有化で日中関係悪化
- 10月 ● 米軍オスプレイ沖縄普天間飛行場に配備
- 100月 ● 山中教授、ノーベル生理学・医学賞受賞
- 12月 ● 衆院選自民党圧勝で安倍政権発足

2013

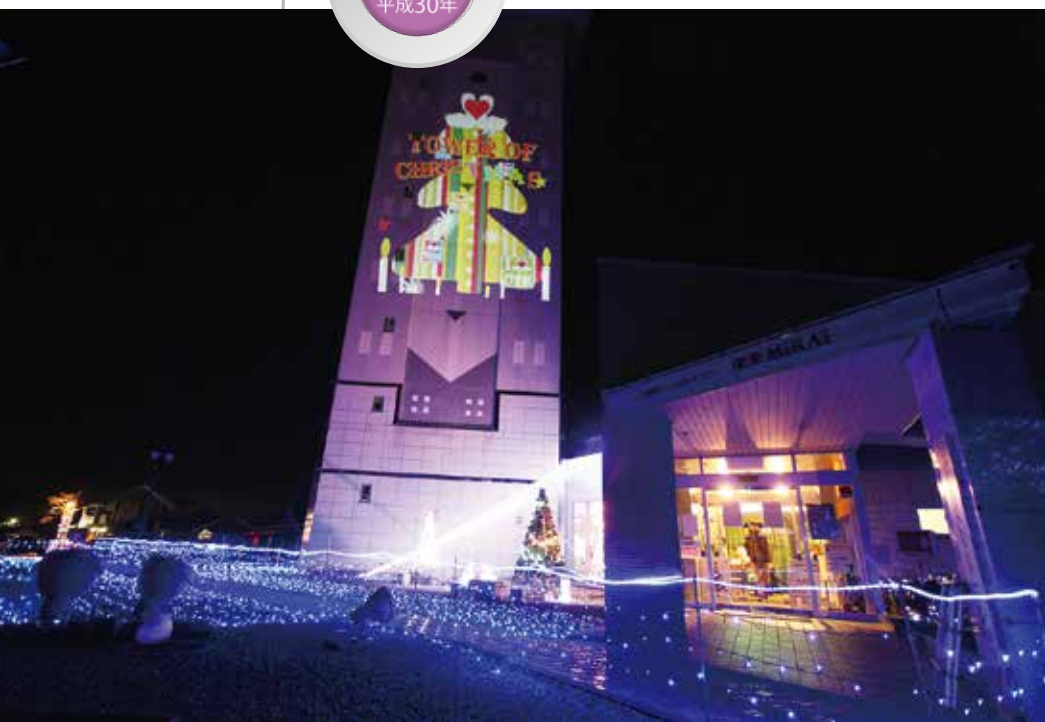
平成25年

2018

平成30年

7冬の風物詩

光のページェントHiKARiMiRAiがスタート [平成26年11月]



6長柄幼稚園の新園舎完成 [平成26年6月]



8おうら中央多目的広場完成 [平成27年8月]



9防災倉庫を設置 [平成27年8月]



10スポーツレクリエーション広場が人工芝に [平成28年2月]



11シンボルタワー入場者が35万人達成 [平成30年1月]



12サントリービール(株)の連携包括協定締結 [平成30年3月]



13おうらこども園が開園 [平成30年4月]

2013

平成25年

- 3月 石打町営住宅B棟完成
- 3月 町民体育館・武道館耐震補強・改修等工事完成
- 4月 邑楽町指定文化財昭和63年指定の松本古墳群に3号墳、20号墳が追加指定になる
- 8月 ロバートの山本博さん 邑楽町観光大使に就任
- 9月 岡部蒼風顕彰事業開始
- 10月 第1回 外来魚駆除大作戦開催 (以降毎年実施)

社会の主なできごと

- 3月 異次元緩和のアベノミクス始動で円安・株高
- 7月 参院選で自民党圧勝。ねじれ国会解消へ
- 7月 米情報収集活動を暴露のスノーデン氏亡命
- 9月 2020年東京五輪・パラリンピック決定
- 12月 特定秘密保護法が成立
- 12月 北朝鮮で張成沢氏粛清。金正恩独裁強まる
- 12月 猪瀬東京都知事が辞職

2014

平成26年

- 3月 中央児童館改築による新館完成
- 3月 長柄小学校水泳プール改築工事完成
- 4月 シンボルタワー入場者が30万人達成
- 6月 長柄幼稚園改築による新園舎完成 6
- 9月 町立図書館の貸し出し点数が700万点を超える
- 11月 光のページェントHiKARiMiRAiがスタート 7

社会の主なできごと

- 1月 小保方氏らSTAP細胞論文を発表
- 3月 ロシアの軍事介入でウクライナ危機へ
- 4月 消費税8%に引き上げ。10%引上は延期へ
- 4月 韓国旅客船「セウォル号」事故
- 7月 集団的自衛権容認の解釈改憲を閣議決定
- 8月 広島で豪雨。土砂災害で74人死亡
- 9月 御嶽山噴火。57人死亡、6人不明

2015

平成27年

- 3月 高島幼稚園改築による新園舎完成
- 3月 子ども・子育て支援事業計画を策定
- 3月 「邑楽町地域福祉計画」「邑楽町地域福祉活動計画」を策定
- 3月 中野小学校水泳プール改築工事完成
- 3月 邑楽中学校特別教室棟（技術室）改築工事完成
- 4月 邑楽町指定文化財 天王元宿祇園祭りを町文化財に指定
- 7月 福祉センター寿荘200万人達成
- 8月 おうら中央多目的広場完成 8
- 8月 防災倉庫設置 9
- 10月 国勢調査
- 人口26,426人、世帯数は9,528世帯

社会の主なできごと

- 7月 東芝不正会計で歴代社長が辞任
- 7月 安全保障関連法が成立
- 8月 新国立競技場、五輪エンブレムが白紙に
- 8月 川内原発再稼働
- 9月 ラグビーW杯日本代表が南ア戦で歴史的勝利
- 10月 大村さん、梶田さんがノーベル賞受賞
- 11月 パリ同時テロ。各国でIS過激派テロ続発

2016

平成28年

- 2月 スポーツ・レクリエーション広場 人工芝生整備工事完成 10
- 3月 北保育園改築による新園舎完成
- 3月 移動図書館車寄贈に対して 南アフリカ共和国大使館より 感謝状授与
- 9月 邑楽町第6次総合計画策定 基本構想・前期基本計画
- 9月 邑楽町小規模企業振興条例施行

社会の主なできごと

- 1月 日銀初のマイナス金利導入
- 4月 熊本地震、死者150人超
- 6月 英国民投票でEU離脱を決定
- 7月 相模原市障害者施設で19人殺害事件
- 8月 今上天皇、退位の意向示唆
- 8月 リオ五輪で日本史上最多41メダル
- 11月 米大統領選トランプ氏勝利

2017

平成29年

- 3月 あいあいセンター内に 農村レストランオープン
- 3月 「都市計画マスタープラン」改訂 「立地適正化計画」策定
- 4月 農林水産大臣、関東地方環境事務所より 「オオクチバス」「ブルーギル」の 飼養等許可を得る
- 5月 町立図書館の貸し出し点数が 800万点を超える
- 5月 農産物軽トラ市場 (現・おうら新鮮朝市) 開催

社会の主なできごと

- 2月 森友学園国有地売却が国会で問題に
- 6月 将棋・藤井聡太四段が29連勝
- 8月 ミャンマーのロヒンギャ迫害に国際非難
- 9月 日産無資格検査発覚。スバルら不正続々
- 10月 電通過労死裁判で有罪判決
- 10月 衆院選で自民圧勝。民進党は分裂へ

2018

平成30年

- 1月 防災マップ作成
- 1月 シンボルタワー入場者が 35万人達成 11
- 3月 サントリービール(株)の 連携包括協定締結 12
- 3月 邑楽町地域防災計画策定
- 4月 おうらこども園が開園 13
- 4月 邑楽町中央公民館完成 [28、29ページに掲載]

社会の主なできごと

- 1月 成人式はれのひ騒動
- 1月 コインチェック仮想通貨流出事件
- 3月 目黒女児虐待事件
- 4月 福田政務次官セクハラで辞任
- 5月 日大アメフト部悪質タックル問題化
- 6月 米朝首脳会談実現
- 7月 西日本豪雨

都市基盤整備

社会情勢の変化に対応した
計画的で魅力的な
都市基盤を整えます



鞍掛工業団地



優良な農地と平地林



多々良沼公園のサクラ



中央公園に飛来する白鳥



総合防災訓練（救出訓練）



ハザードマップ



総合防災訓練（応急救護）



LED化された防犯灯



消防車両



ポンプ操法競技大会の様子

安全に暮らせる地域環境を創造し、
良好な生活環境の保全を目指します

自然 都市基盤整備

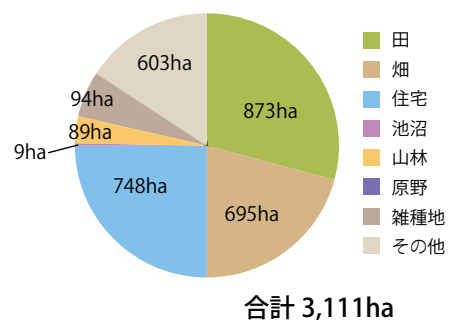
Nature Upgrading Urban Infrastructure

田園地帯に点在する平地林や白鳥の飛来する多々良沼公園などの自然環境は、邑楽町の大きな特徴です。しかし、近年の都市化により農地や平地林などの保全が課題となっています。これらを後世に継承するため、都市化との整合を図ります。また、本格的な人口減少社会を迎え、これまでの成長や拡大を前提とした都市計画の枠組みから大きな転換が迫られています。したがって、今後も市街化区域内の都市基盤整備を推進するとともに、生活に必要な機能や魅力の向上を目指した土地利用の規制・誘導を図ることに努めます。市街化調整区域では、自然環境の保全と活用を図りながら、既存の集落地がコミュニティと良好な住環境を維持し、今後も衰退しないような都市基盤整備を推進していきます。さらに、機能的な道路整備、交通安全対策、公共交通の利便性の向上などによる交通ネットワークの形成によって、誰もが移動しやすいまちづくりを目指します。

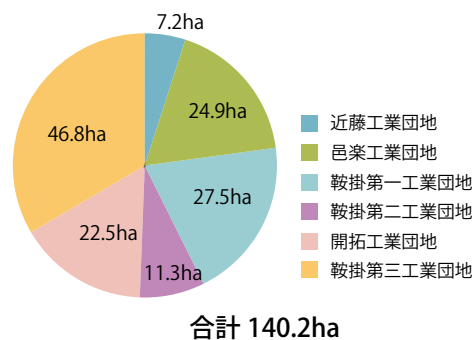
The natural environment is a major feature of Ora, including the lowland forests scattered across the rural districts, and Tataranuma Park which is visited by swans. Preservation of farmland and forestland has become an issue due to the spread of urbanization in recent years. In addition, as the society faces serious population decline, the longstanding urban planning assumptions of growth and expansion must be fundamentally changed. As infrastructure is upgraded in the areas designated for urbanization, the town will also implement land use regulations and inducements aimed at enhancing the quality of life and attractiveness of our communities. In urbanization control areas, while working to preserve and utilize the natural environment, the town will encourage community identity and pleasant living environments in existing settlements, and provide urban infrastructure designed for low maintenance. Toward the goal of enabling all residents to travel easily, we will build efficient traffic networks, including functional road improvements, traffic safety measures, and more convenient public transit.

DATA 自然・都市基盤整備

■土地利用の状況（税務課）

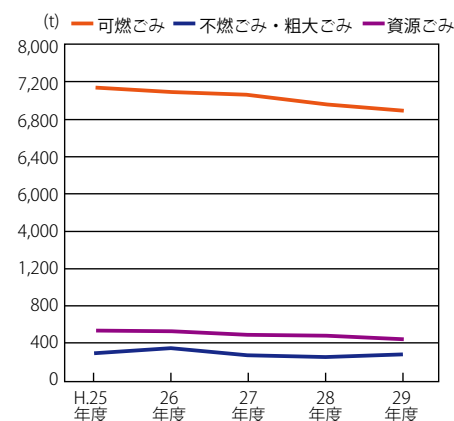


■工業団地の面積（都市建設課）

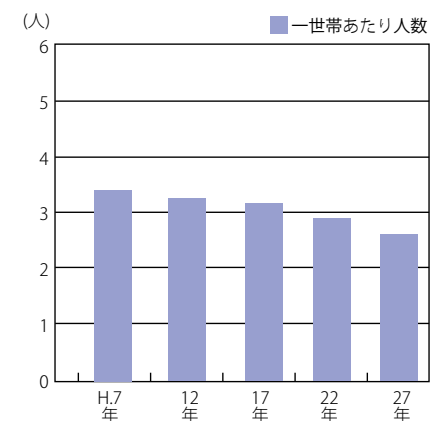


DATA 生活・環境

■家庭ごみの排出量（安全安心課）



■世帯あたり人数（国勢調査）



As the needs of our residents continue to diversify, the enhancement of living environments requires measures in a number of areas including fire protection, emergency response, crime prevention and disaster mitigation, as well as consumer support and the delivery of advisory services. Since the 2011 Great East Japan Earthquake, there is wider recognition of the importance of physical and social measures for preventing and mitigating disasters, including stronger earthquake resistance for buildings and other structures, making parks and other areas more functional as evacuation sites, and regular evacuation drills based on disaster scenarios. Enabling residents to live with peace of mind also requires advanced and expanded systems for fire protection, emergency response, and rescue, in order to increase survival rates. It is also necessary to establish crime prevention systems based on cooperation among residents, businesses and public agencies. Environmental quality is another area requiring attention, including appropriate, ongoing steps to prevent air and water pollution and control noise, vibration and odors.

生活 環境

Living environment

緩

やさしさと思いやりのある
健康やかな暮らしを構築します



離乳食相談



オレンジカフェ



4ヶ月児検診

邑助けネットワーク



邑多福まつりの健康診断



おうら子ども園



外来魚駆除大作戦（中野沼）



邑の森ホールのステージ



小学1年生の元気な返事



イングリッシュキャンプ



町民体育祭
(町内対抗リレー)

子どもはた織り教室



創造性と個性を大切に
人と文化を育てます

保健福祉

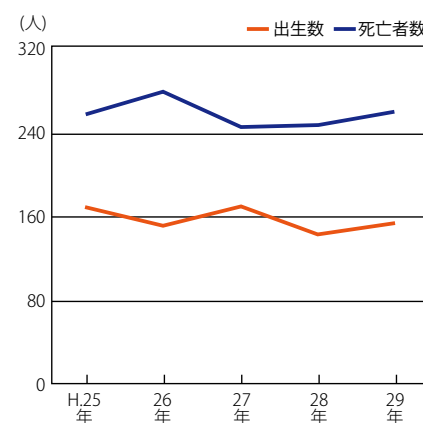
Health and Welfare

邑楽町においても、少子高齢化が進行していることから、保険、医療、健康づくりや各種福祉の施策の充実、社会保障制度の周知は重要な課題です。
そこで、保健・医療・健康づくりでは、総合的な医療サービスが提供できる包括的な地域医療体制や、体系的な救急医療体制の整備充実、自ら取り組む生涯にわたる健康づくりを推進します。
また、福祉施策では、地域福祉活動を推進するためのサービスの体系化と条件整備、地域の連携や社会福祉に対する理解と意識の高揚、総合的な高齢者福祉の充実、地域社会で安心して自立した生活を送るための総合的な障害者施策、家庭と地域の連携を重視した子育て支援、自立・安定した生活のため、一人親家庭への支援にも取り組みます。
さらに、社会保障制度では、国民健康保険・後期高齢者医療保険・介護保険について、円滑な制度運営を図るとともに、国民年金制度の普及・啓発に努め、生活困窮者の相談支援活動も行ないます。

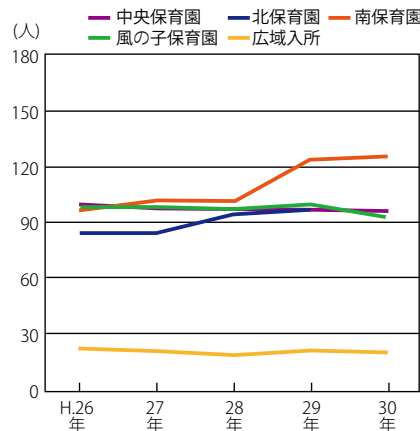
As the Ora population continues to age with a declining birthrate, it will be essential to expand programs for insurance, medical care, health promotion, and various social welfare services, and to increase public awareness of the social insurance system.
For insurance, medical care and health promotion, a comprehensive regional medical and emergency care system will be required for delivery of integrated medical services, along with programs to encourage individual efforts for lifelong health promotion.
The needs for welfare programs include facilitation of town-wide programs by systemizing services and adjusting requirements, strengthening of regional collaboration and public awareness of programs, expansion and integration of eldercare, comprehensive measures to enable persons with disabilities to function comfortably in the local society and live independently, childcare assistance based on family and community cooperation, and support to assure the independence and stability of single-parent households.
Regarding the social insurance networks, in addition to assuring the smooth operation of the national health insurance, latter-stage elderly healthcare, and nursing care insurance systems, the town will work to make everyone fully aware of the systems and will offer consultations to persons in need.

DATA 保健・福祉

年間出生数と死亡者の推移（人口動態調査）

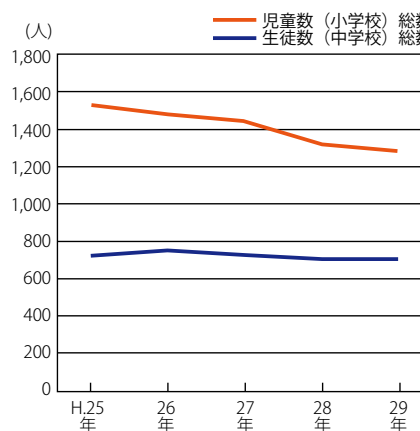


保育園児の推移（こども支援課）

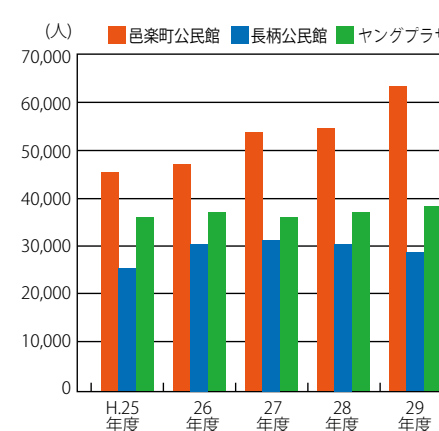


DATA 教育・文化

小・中学校の児童・生徒数（学校基本調査）



公民館利用状況（生涯学習課）



We will ensure that high-quality schooling is available in Ora, to support the sound development of successive generations of children.
We will work with local communities to maintain attractive schools that provide students with solid academic capabilities, motivation to learn, and a well-rounded spirit.
To make continuing education available to all residents who aspire for it, the town will guarantee the right to education and provide a variety of study opportunities as well as sites for social sport, so as to support more fulfilling life.
In the cultural sphere, appropriate steps will be taken to preserve cultural assets by supporting our residents' artistic and cultural activities.

教育文化

Education and Culture

緑

While economic activity in Ora has remained centered on agriculture, the creation of industrial parks from the 1960s led to rapid development of manufacturing, but with the decrease of active farmers, the prolonged downturn of the national economy, and changing industrial structures, our local economy is now in poor condition. Economic revitalization will require reactivation of both the core industry of agriculture and manufacturing industries, as well as expansion of commerce. For agriculture, in addition to promoting local production for local consumption, integration of processing and distribution into primary production operations (sixth-sector industrialization), and the securing and training of successors, it is necessary to enhance the farming infrastructure and shore up farming communities so as to build comfortable and fruitful rural environments. For manufacturing, the town will investigate the building of new industrial parks with a view to attracting enterprises, and work together with businesses and business organizations toward skill development and recruitment of successors. To promote commerce and tourism, the town will seek synergies through collaboration with local businesses.

活力ある産業活動の構築を支援します



農道の整備の状況



光のページェント



あいあいセンター



そばの町おうら会



おうら祭り



産業祭の様子



行政区単位の自主防災訓練



外国語による
ごみの出し方の案内



行政区のふれあいサロン（お茶会）



地区の夏祭り



育成会による子どもみこし（おうら祭り）

心がふれあう地域社会を目指します

産業振興

Industrial Promotion

本町の産業は、農業を中心としつつ、昭和30年代からの工業団地の造成により、工業が飛躍的に発展してきましたが、農業者の減少、長引く景気の低迷、産業構造の変化などにより、邑楽町の産業は厳しい状況にあります。そのため、基幹産業である農業や工業の活性化に努めるとともに、商業の充実などに努め、町内の産業振興を図ることが必要です。農業では、地産地消や6次産業化などに取り組み、担い手の育成や確保を図るとともに、農業生産基盤の整備、農村コミュニティの充実など、快適で豊かな農村環境の創出に努めることが必要となっています。また、工業では、新たな工業団地の造成の検討及び企業誘致も視野に入れ、技術や担い手の資質の向上を商工会などと連携して、支援を図ることが求められています。さらに、商業や観光の振興を図りつつ、各産業の連携による相乗効果の発揮を図れるよう努めます。

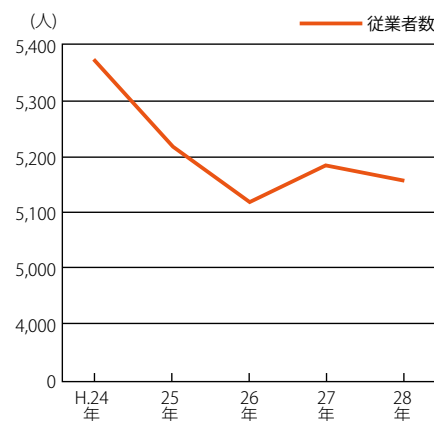
邑楽町では地域活動の単位として「行政区」が設置され、地域における住民自治の推進、行政運営の円滑化など活動拠点として大きな役割を担っています。しかし近年は核家族化や個々の価値観の多様化が進み、地域の連帯感や共同意識の低下が見られる傾向にあります。今後の良好な地域づくりに向け「行政区」でのさまざまな活動を支援し、地域活動に関する情報や活動機会の提供を図ります。また、近年、増加傾向にある外国籍住民も暮らしやすい環境づくりや、男女共同参加社会の実現、地域社会で青少年を守り育てていく体制の整備など、すべての人が大切にされる地域社会を目指します。さらに、町民・行政それぞれが役割と責務を自覚し、一体となって共同のまちづくりを推進します。

地域活動

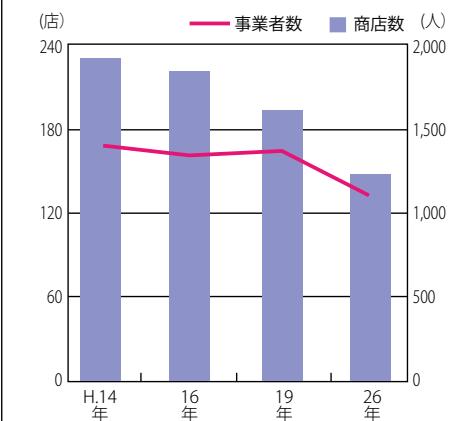
Regional activity

DATA 産業振興

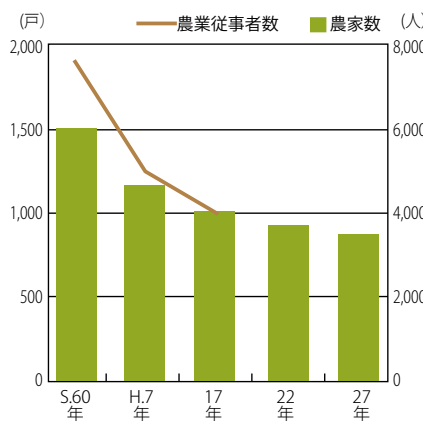
■工業従業者数の推移（工業統計調査）



■商業の推移（商業統計調査）

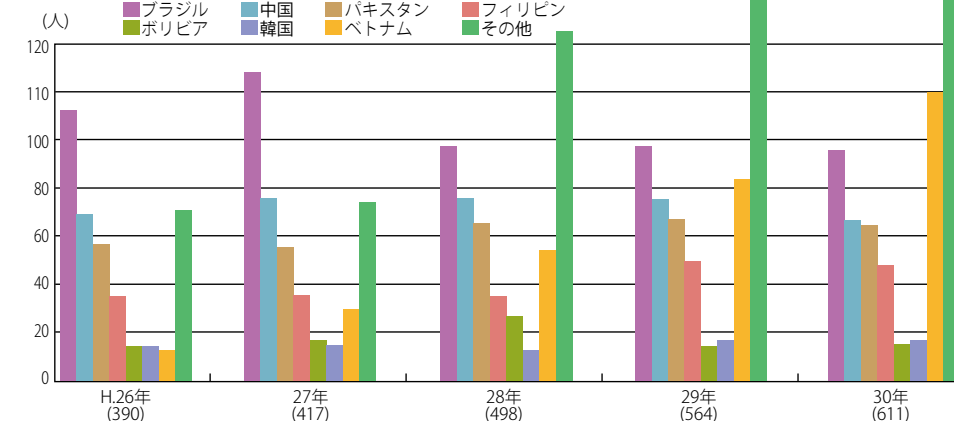


■農業の推移（農林業センサス）

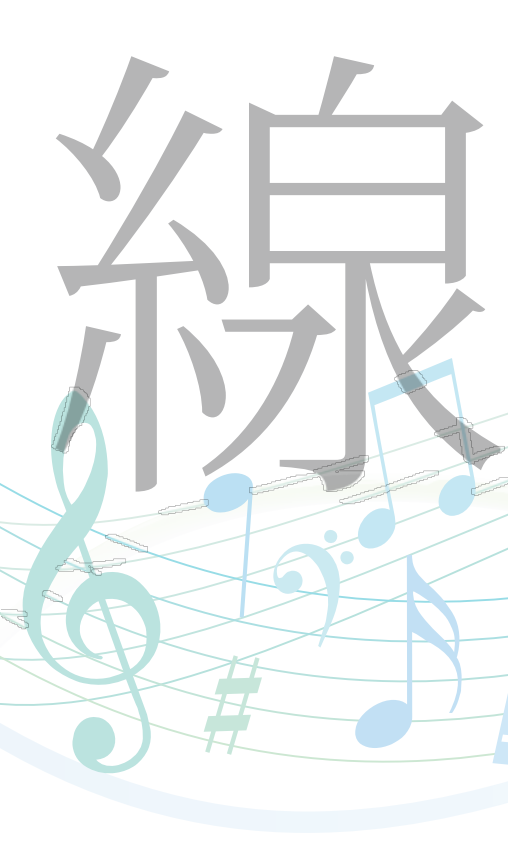


DATA パートナースhip

■外国人登録国別人口（住民課）



The town of Ora is establishing Administrative Districts as units for community activity, and they will play a major role in supporting resident self-governance and assuring smooth operation of public services. There has been a decline in community spirit and solidarity in recent years, as family structures and personal value systems have diversified. To support healthy community development, a variety of activities will be facilitated through the Administrative Districts, including the creation and publicizing of neighborhood events. Toward the goal of fully recognizing the dignity of all persons, the town will foster a social environment that is comfortable for the growing number of foreign residents, promote gender equality, and create local systems for protecting and nurturing our youth. Community development will be facilitated on the basis of the townspeople and the government remaining aware of their respective roles and duties, and working together.



町民の長年の念願であった、ホールを備えた中央公民館が平成30年9月1日に開館しました。

公民館はこれまで整備が進められてきた中央公園構想の総仕上げとして、
区域全体の機能をより向上させることに気配りされた施設です。

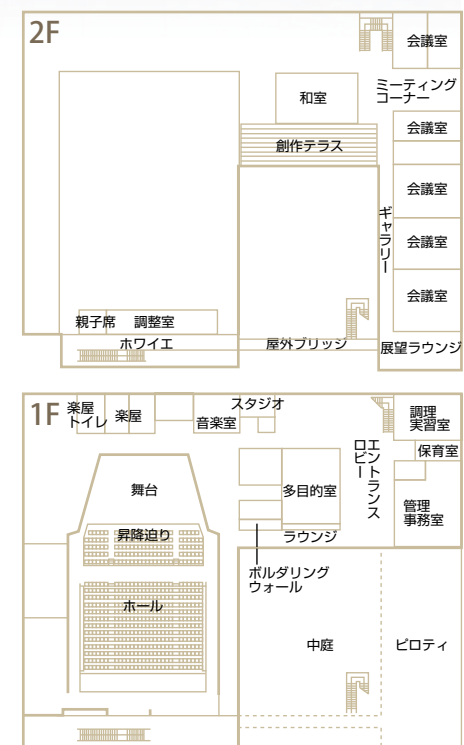
もちろん本来の機能である、町民が集い交流し学ぶ場所としても、憩いと喜びのある施設を目指しました。

また、芸術・文化を核にしたまちづくりの拠点・発信地としての役割も期待されます。

ホールの愛称は全国から寄せられた877の案から町民による投票を経て『邑の森ホール』に決定しました。

町民はもとより、多くの利用者、表現者の皆様に長く愛され、ご活用いただけることを願っています。

中央公民館は大きく東西に「ホールゾーン」と「公民館ゾーン」に分かれ、それぞれ取り囲むように配置されています。
ホールゾーンは、舞台空間や客席規模を可変できる木質系空間で、中庭を一体的に利用することも可能です。
演劇やコンサート、講演など多目的に使えるホール（最大485席）には、スタインウェイのフルコンサートグランドピアノを備え、小さいお子様の泣き声や物音が漏れない親子席4席も用意しました。
ホール裏には防音設備つきの音楽室やスタジオがあります。
公民館ゾーンには、中庭に面する創作テラス、和室、調理実習室などがあり、3室ある会議室は可動式の壁を開放すれば約100人収容できる大会議室になります。



- ◎建築面積 2,520.65㎡
- ◎延床面積 1階 2,102.82㎡
2階 1,023.96㎡
合計 3,126.78㎡
- ◎構造/規模 鉄筋コンクリート造
一部鉄骨造/地上2階建て
- ◎基礎構造 杭基礎
- ◎最高の高さ 16.50m
- ◎軒の高さ 11.00m
- ◎主なスパン 7.8m×7.2m
- ◎各階の階高 1階4.40m、2階3.8m
- ◎エレベーター 1台（常用兼用、13人乗り）

邑楽町中央公民館

住所 〒370-0603 邑楽町大字中野2569-1
電話 0276-88-1177
FAX 0276-88-2111
開館時間 午前9時～午後10時
休館日 毎週月曜日と年末年始
URL <http://orachuko.ec-net.jp/>

行政・議会



町議会



行政

教育長/藤江利久 町長/金子正一 副町長/大船一

町民との協働のまちづくりを推進し、町の魅力をさらに高め、町に暮らす誰もが未来に向かって夢と希望が持てるよう「やさしさと活気の調和した夢あふれるまち“おうら”」を将来像としたまちづくりを目指します。

また、町民サービスの質を低下させることなく無駄の無い効率的な行政運営を図るため、選択と集中による計画的な事業を推進します。

さらに、機能的な組織の構築と公共施設の適正な管理を図ります。

財政運営においては、多様化する行政需要に対応するため、社会・経済情勢の動向に留意し、自主財源の確保と依存財源の確保に取り組みます。

また、徹底した経費節減を図り、長期的な展望に立った健全で計画的な財政運営に取り組みます。



議会

議長/小島幸典 副議長/塩井早苗

年4回の定例会開催はもとより、必要に応じ臨時会も開催されています。町の主要な事業や政策の基本となる事項について、議決や同意等を行うことにより、住民の声が町政に十分反映されるよう、住民の代表として活動しています。

また、町の事務に関する調査や議案、請願等の審査を行なうため、委員会を設置し、広範多岐にわたり、専門化している案件について、調査・審査を行っています。

町内の主な施設



①邑楽町役場庁舎



②保健センター



③社会福祉協議会・福祉作業所



④福祉センター寿荘



⑤シンボルタワー



⑥あいあいセンター



⑦中央公民館



⑧長柄公民館



⑨勤労青少年ホーム（ヤングプラザ）

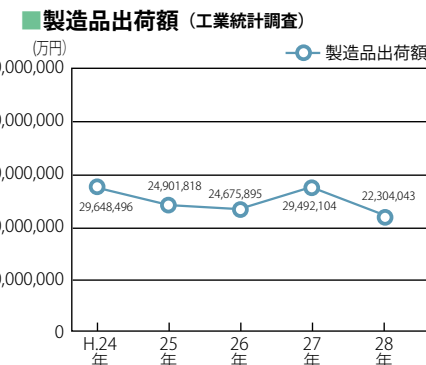
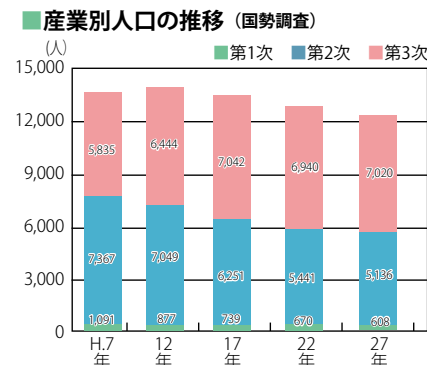
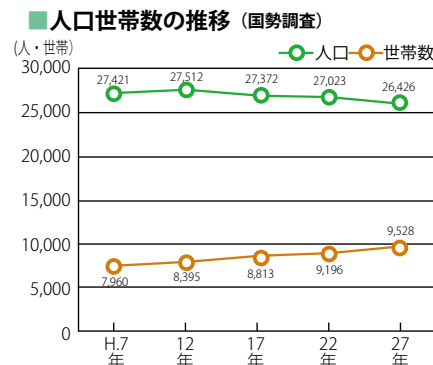


⑩町民体育館・武道館

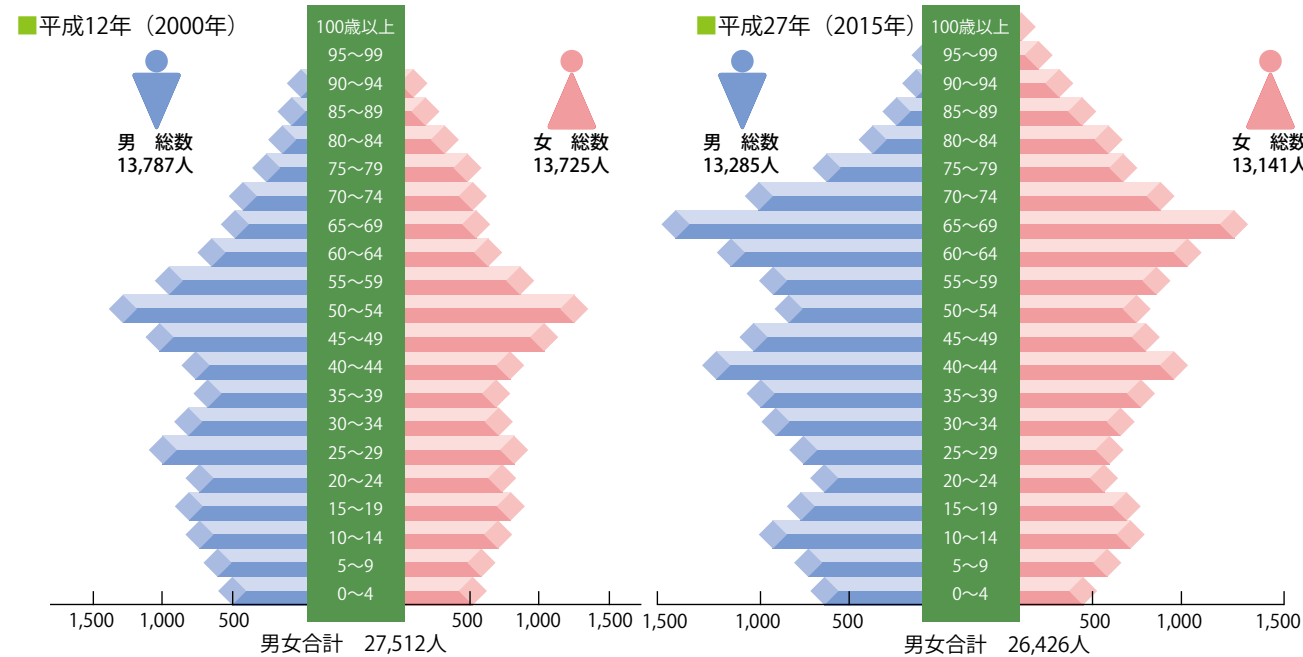


⑪町立図書館

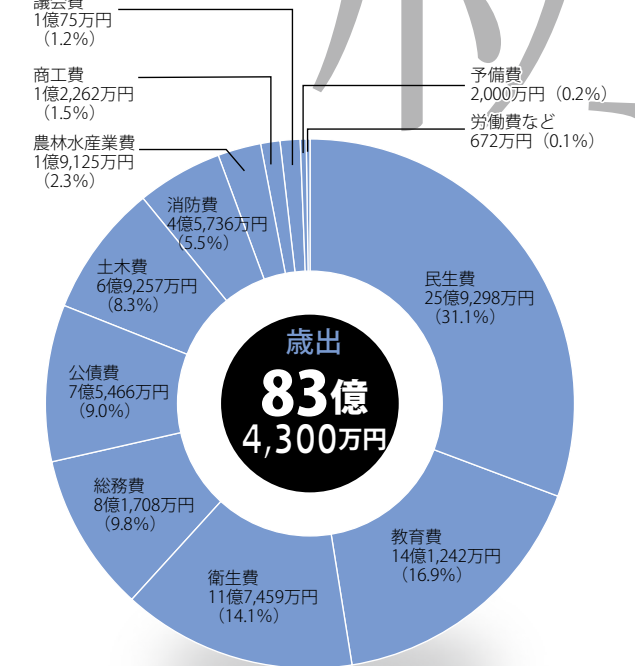
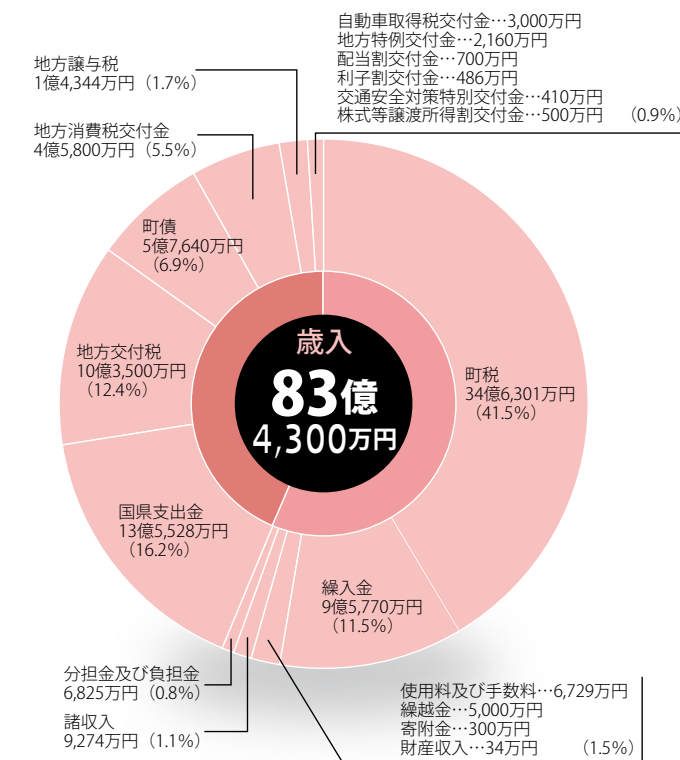
◎役場	
①邑楽町役場	TEL.88-5511
ホームページアドレス https://www.town.ora.gunma.jp	
教育委員会	TEL.88-5511
◎保健・福祉	
②保健センター	TEL.88-5533
邑楽町ファミリーサポートセンター	TEL.47-5048
地域包括支援センター	TEL.80-9300
③社会福祉協議会	TEL.88-2408
④福祉センター寿荘	TEL.88-6588
地域活動支援センター（福祉作業所）	TEL.88-7920
高齢者活力センター	TEL.89-0099
◎商工	
邑楽町商工会	TEL.88-0082
邑楽町共同福祉施設	TEL.88-7339
消費生活センター	TEL.47-5047
⑤シンボルタワー	TEL.88-8686
◎農政	
群馬県緑化センター	TEL.88-7188
⑥あいあいセンター	TEL.89-1456
◎教育	
⑦中央公民館	TEL.88-1177
⑧長柄公民館	TEL.89-0123
⑨勤労青少年ホーム・勤労者体育センター	TEL.89-1501
⑩町民体育館・武道館	TEL.88-5355
⑪町立図書館	TEL.88-5900
学校給食センター	TEL.88-0678
教育相談室	TEL.88-9779
◎警察・消防	
石打駐在所	TEL.88-5541
中野駐在所	TEL.88-5555
篠塚駐在所	TEL.88-0543
邑楽消防署	TEL.88-5551
◎保育・幼稚園・こども園	
中央保育園	TEL.88-0230
南保育園	TEL.88-1240
風の子保育園	TEL.88-5850
中野幼稚園	TEL.88-4808
長柄幼稚園	TEL.88-0049
おうらこども園	TEL.70-2251
◎小・中学校	
中野小学校	TEL.88-5501
高島小学校	TEL.88-0644
長柄小学校	TEL.88-0649
中野東小学校	TEL.89-0888
邑楽中学校	TEL.88-0150
邑楽南中学校	TEL.88-2120
◎児童館	
南児童館（長柄小学校区）	TEL.88-2258
北児童館（高島小学校区）	TEL.88-3715
中央児童館（中野小学校区）	TEL.88-6135
東児童館（中野東小学校区）	TEL.88-1360
◎郵便局	
邑楽藤川郵便局	TEL.88-5521
中野郵便局	TEL.88-5500
長柄郵便局	TEL.88-5520
◎その他	
群馬東部水道企業団館林支所	TEL.80-3201
大泉町外二町清掃センター	TEL.63-1266
大泉町外二町斎場	TEL.62-6001
東武鉄道本中野駅	TEL.88-7160



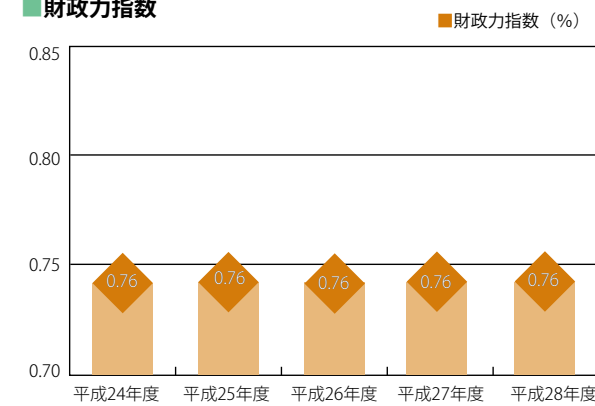
年齢別人口 (国勢調査)



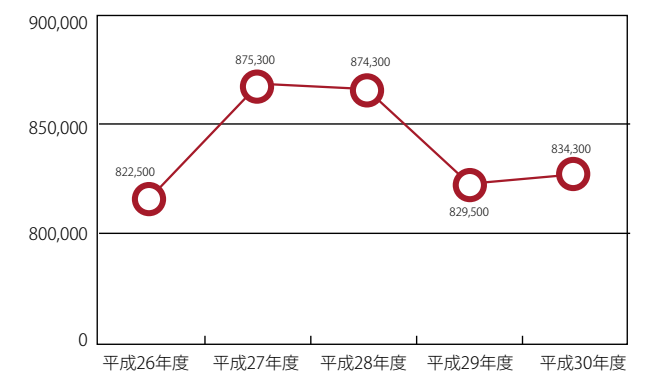
平成30年度一般会計当初予算



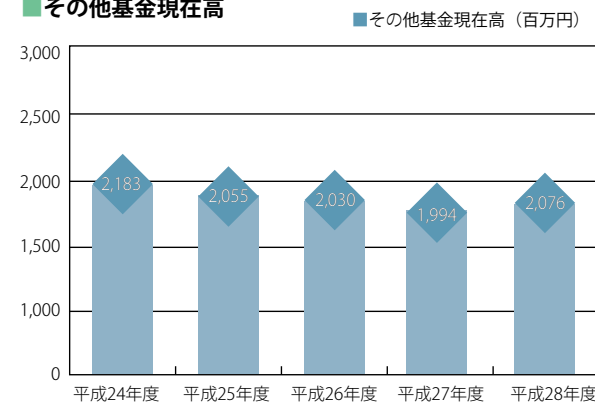
財政力指数



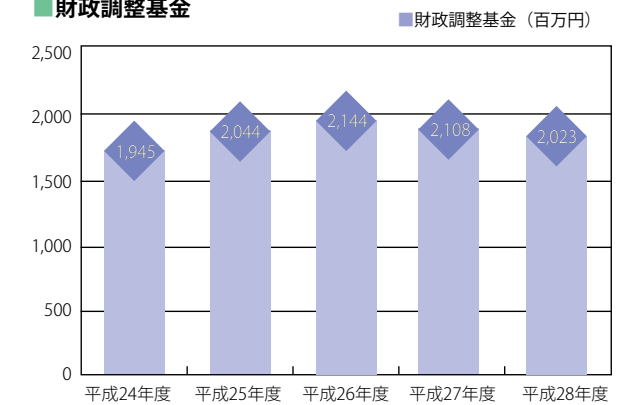
一般会計当初予算額の推移



その他基金現在高



財政調整基金





〔町章〕



〔町の花●ヤマツツジ〕



〔町の木●アカマツ〕

【町民憲章】

私たちは郷土に誇りをもち

太陽と緑と水に恵まれた 豊かで 住みよい町をつくるために

全町民の願いをこめて この憲章を定めます

1. 邑楽町は 若さと希望の 伸び行く町です
1. 邑楽町は 笑顔あふれる 福祉の町です
1. 邑楽町は 町民総参加の スポーツ振興の町です
1. 邑楽町は 自然を愛し 美しい環境をつくる町です
1. 邑楽町は 教育を重んじ 文化を高める町です

(昭和53年7月1日制定)

町制施行50周年記念〔邑楽町50年のあゆみ〕

発行■群馬県邑楽町

〒370-0692 群馬県邑楽郡邑楽町大字中野2570番地1

TEL.0276-88-5511(代表) FAX.0276-89-0136

URL <https://www.town.ora.gunma.jp/>

E-mail plan@swan.town.ora.gunma.jp

発行日■2018年10月

企画・編集■邑楽町役場企画課

印刷■たつみ印刷株式会社